

アコヤガイ貝殻の利活用～循環型社会への貢献～



山先海翔 伊藤千隼 岡田梨々愛 善福卓哉 橋本七海 指導者:野中誠也

1 研究の背景

- ・ウイルスによる**大量廃棄**
- ・2024年3月新型のウイルスによりアコヤガイが大量死
⇒貝殻は大量廃棄された

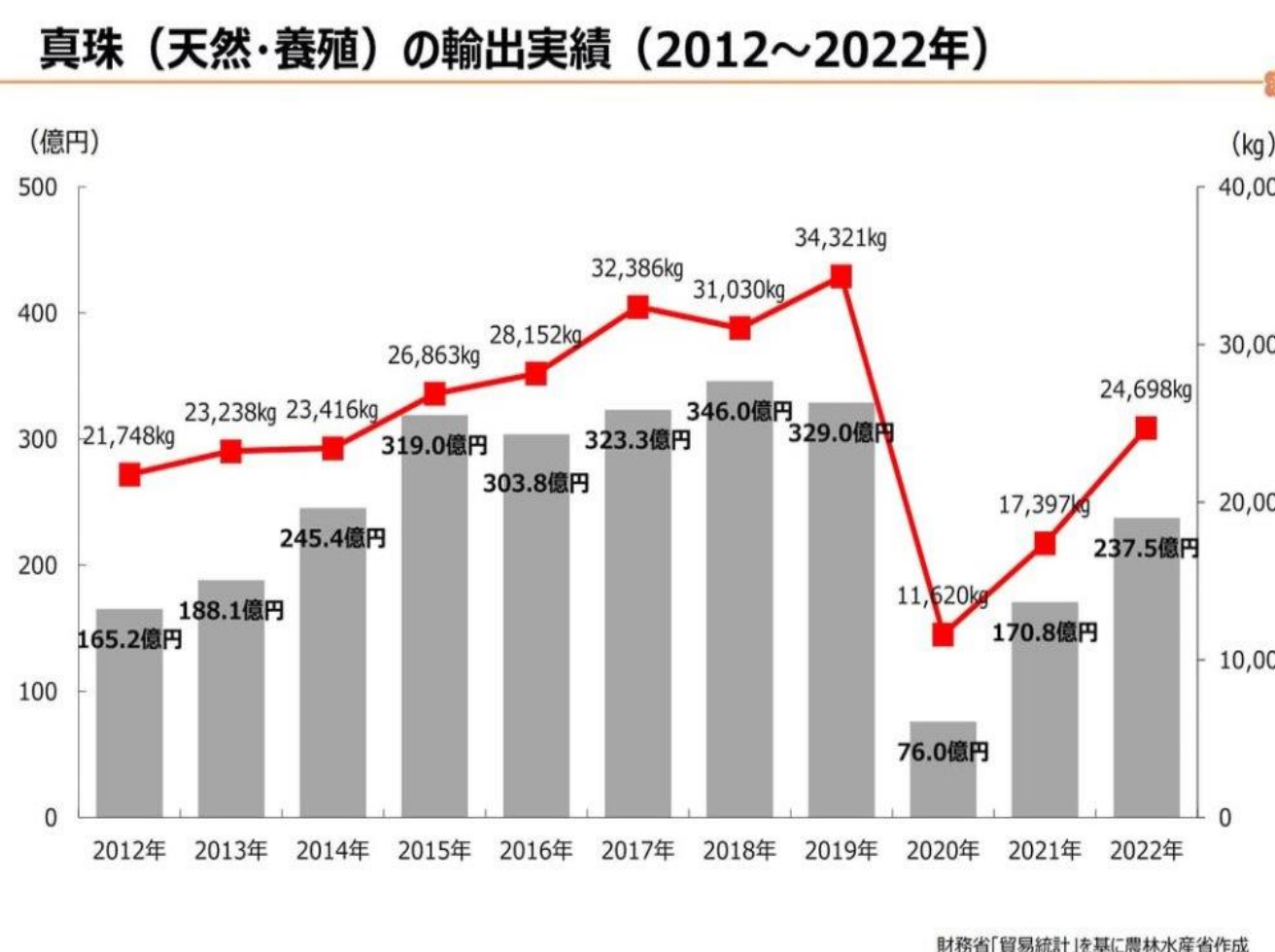
真珠の量は減少したが廃棄物は増加

- ・**無駄**をなくす必要がある！

真珠の消費量増加

⇒廃棄量も比例して増加

廃棄量⇒無駄をなくすために**利活用**



2 仮説

- ・水産庁計画では2030年までに**472億円**まで輸出量を拡大することを目指している。

【課題】

- ・安定供給と輸出量最大の中国との関係、輸出先の販路拡大
- ・生産過程における廃棄物の利活用

3 研究手法

- ・先行研究等での情報収集 ・養殖・加工をしている方への取材
- ・アンケートの実施 ・アコヤ貝の貝殻を用いた実験

4 考察

- ・観光客向けの商品開発

訪日外客数の多くを占める国

→韓国、中国（うち約6割が女性であり、その中でも20～30代が半数を占める）

【ニーズのある**コスメ**を開発する】

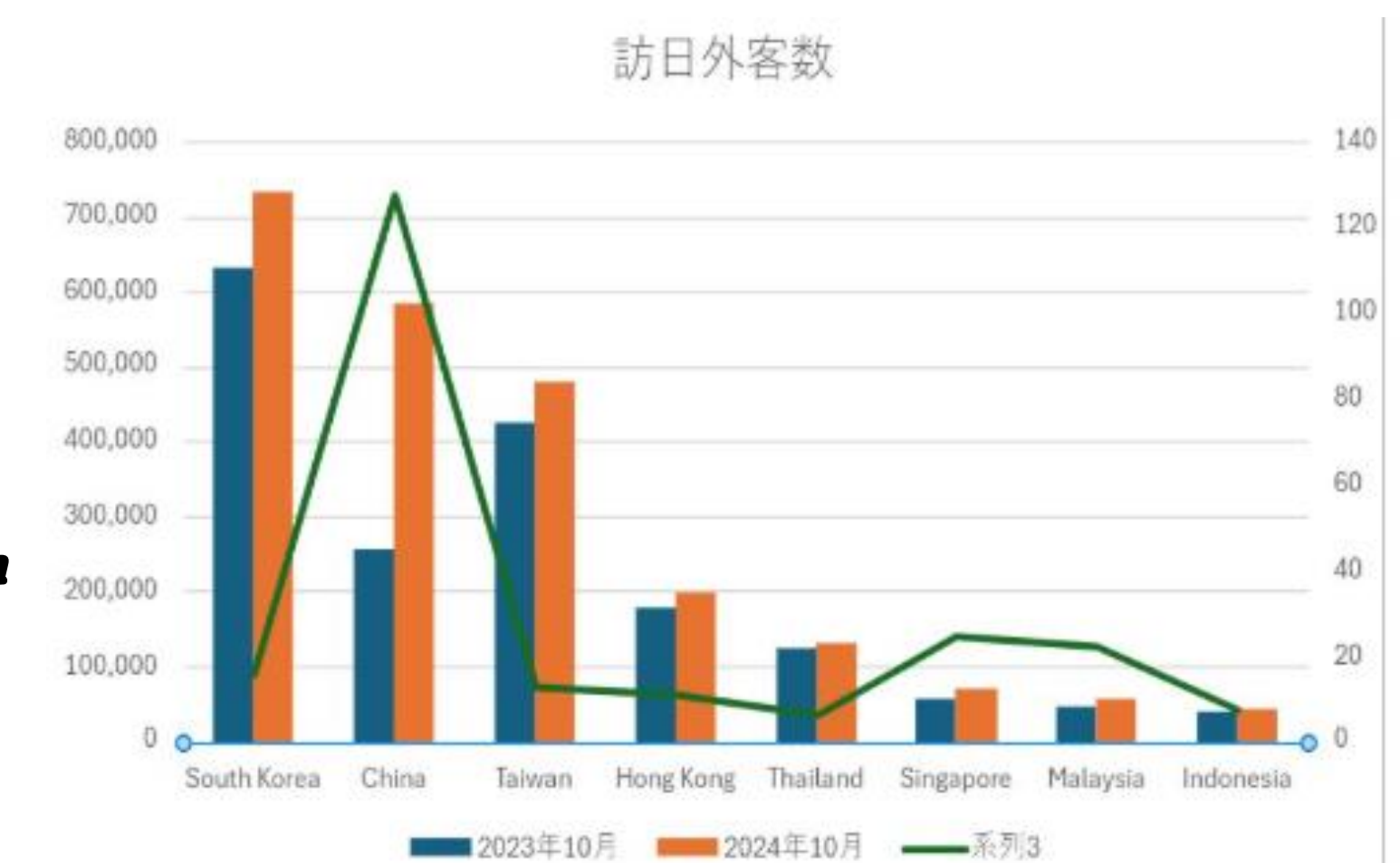
真珠は95%がカルシウムでできている。その他コンキオリンという17種類のアミノ酸からなるたんぱく質でつくられている。

- ・貝殻アート

貝殻は胡粉(塗料)やアート・工作でも使われる。

⇒子供でも簡単な作品を作ることが出来る！

これらを利用して…



(例) SDGs貝絵アート展示会・コンテスト2023

SDGs障がい者貝絵アート展示会・コンテスト2023

子供が図画工作の時間や保護者と一緒に地域の体験イベント等で貝殻を利用した作品の製作ができるのではないかと考える。

5 今後の研究

- ・エシカル消費に取り組んでいる「株式会社あこやひめ」さんへの取材
- ・「シェルナース」の設置
- ・「貝殻アート」の普及啓発